

なぎさだより

NAGISA DAYORI

第30号
2019年8月発行

韓国KBSよりテレビ放送の取材を受けました

韓国でも、急速な高齢化と認知症が増加している事で介護に関心が高まり社会的に対策を考えなければならないという声があがっています。そのなかで、寝たきりの方やオムツをしている方も多く、今の介護のままで良いのか疑問をもって番組を制作したいということでした。当施設への取材は、昨年NHK総合テレビのニュース7で放送された「なぎさの里の日中おむつゼロの取り組み」をご覧になり関心を持たれたのがきっかけだったようです。取材は、水分や食事摂取、排泄ケア、マシンを使ったりハビリを中心に行われました。なぎさの里の自立支援介護の取材を終えて「とても刺激になった。もっと深く知りたいと思った」と感想をお話されていました。ただし、残念なことに今回の取材番組は韓国で10月に「KBSスペシャル 認知症を乗り越える現場」として放送予定していますが、日本では放送されないそうです。



ハンドトリートメントボランティア

初めてのボランティアで皆様、とても喜ばれていました。アロマの精油を使い、両手をマッサージしていただくことで、とてもリラックスでき穏やかな表情をされていました。また、マッサージをしながらの会話も楽しく「手がつるつるになった」「手が動くようになった」「生まれて初めてしてもらったけどすごく良かったわ」と嬉しそうに教えてくださいました。ボランティアに来てくださった中野様・濱崎様、素敵な時間をありがとうございました。



第14回 なぎさふれ愛祭

雨天
決行

【日時】令和元年9月7日(土)10時~15時(受付14時30分終了)
【開催場所】特別養護老人ホーム なぎさの里

- 食品バザー** 手作りパン・焼きそば・カレーライス・とり唐揚げ・ソフトクリーム・いなり寿司
そば碗・アメリカンドック・飲み物 (各100円) わたあめ無料 (数に限りあり)
- ゲーム** スタンプラリー・射的・おもちゃ釣り・ヨーヨー釣り

13時00分頃から職員によるフラダンスやマツケンサンバ・ボランティア様によるよさこい(踊り)・太鼓演奏の催し物が始まります。どなた様もお気軽にお越しください。

ボランティア紹介

- いなほ園様
- 川島 衛様
- 恵泉幼稚園様
- 小森 悦子様
- 佐藤 信子ファミリー会の皆様
- ザ・ニューコム様
- 島見婦人会様

- 高橋 征一様
- 中野 久美子様・濱崎 信子様
- 傾聴ボランティア ほほえみ様
- 三浦 こういちとヒマナスターズ様
- 南浜中学校 吹奏楽部様
- 山浦 泰江様

(H31年2月1日~R1年7月31日)
皆様、大変お世話になっております。いつもありがとうございます。

なぎさの里のホームページも

みてね!

このQRコードをスマートフォンで読み取って下さい。



なぎさの里利用者募集!!

なぎさの里では、随時特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスの利用申込みの受付を行っております。ぜひご連絡ください。

当法人の介護職員56名が、介護福祉士を取得しています。

特別養護老人ホーム なぎさの里

TEL 025-255-3710

社会福祉法人 恵生福祉会

特別養護老人ホーム なぎさの里
短期入所(ショートステイ)

老人デイサービスセンター なぎさの里

居宅介護支援事業所 なぎさの里

〒950-3102 新潟市北区島見町4524-13

TEL (025)255-3710 E-mail nagisanosato@juno.ocn.ne.jp

FAX (025)255-3727 H P http://www.nagisanosato.sakura.ne.jp/

■広報誌「なぎさだより」は毎年2月・8月の2回発行予定となっています。